

花嫁が待っているから

Laos ラオス



「これから迎えに行くんだよ」

白い正装に身を包み、笑顔でこう話す彼は、今日の主役、花婿だ。

ラオスでは、結婚式当日の朝、花婿が花嫁を迎えに行く習慣がある。花婿は、親族や友人たちと祝いの歌を歌いながら近所を練り歩き、花嫁の家へと向かう。その間、花嫁とその親族たちは家の中で、花婿の到着を今か今かと心待ちにしている。

しかし、家に入る一歩手前のところで、花婿は、花嫁の親しい友人たちに止められてしまう。

「あなたは一生変わらずに花嫁を愛し続けますか」「入る前に祝い酒を身を清めなさい」。花嫁に会うための最後の関門だ。

仲間と共に試練に打ち勝ち、初めて花嫁のもとに辿り着ける。まるで、勇者がお姫様を救う物語のようだ。幾多の試練を乗り越え結ばれた2人は、この先、きっと幸せになれるだろう。

ウドムサイ県



撮影：森 治彦（ラオス/青年海外協力隊）

あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先(電話番号とEメール)、エピソード(300~350字)、記名の可否をご記入の上、写真と共に応募先アドレスまでEメールでお送りください。

*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。*ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募 / 問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

(「mundi」編集部宛)